

早川 信志 Shinji HAYAKAWA

「make a home」

会期：2012年12月4日（火）－8日（土） 9:00～19:00

会場：沖縄県立芸術大学 崎山キャンパス彫刻棟2階 演習室

彫刻演習室では、11月4日（火）から8日（土）まで、早川信志個展「make a home」を開催致します。早川が日頃より用いる、テラコッタによる新作を展示します。

「人はポリス的な動物である」と大昔の偉い人はいった。私は地元を離れ、ここ沖縄に来てその言葉に納得した。例えば、物理的な居場所なら物理的な方法で手に入れることができる。しかし、社会的な居場所を見つけることはなかなか難しいもので、初めのころは懐郷心に襲われることもたびたびあった。その点についてはどなたもご理解いただけるだろう。

この個展のタイトルは「make a home」と名付けた。私は人に限らず、すべての生き物は社会的な動物であると考えている。本展で展示される作品のモチーフとしてスズメバチの巣を用いている。ハチは徹底的に統制された社会を築いている。女王バチを頂点にその子どもである大勢の働きバチによって巨大な本拠地（ホーム）を作り上げている。働きバチは本拠地があるからこそ遠くへ働きに行けるのだ。人もそれと同じではないだろうか。人それぞれ本拠地の在り方に違いはあるが、詰まることこそ「心のより所」なのである。そして、女王バチが一人でそれを作り上げたように、人はそれを自分で見つけ出さなければならない。本展ではすべてテラコッタによる作品で構成されている。土の温かな質感を残したまま作品に成り立たすことができるテラコッタは、私が一番好きな技法である。寒々しいホワイトキューブの空間の中に温かなテラコッタで作る作品群を是非、観ていただきたいと思う。

早川信志



「Border dooms」 2011 テラコッタ、真鍮

【早川信志プロフィール】

1989年愛知生まれ。現在、沖縄県立芸術大学大学院環境造形研究科彫刻専修1年生。

主なグループ展に2012年の「沖縄県立芸術大学 × 女子美術大学 教育・学術交流協定締結記念大学院生作品展」（東京）、2011年「1517,806km」（沖縄）、などその他出品多数。